

◆新職員のご紹介① ～柏崎 真司～ 観光協会正職員 (総合プロモーションチームリーダー)



青森県竜飛岬出身。30歳。大学卒業後、資格学校での販促企画業務を経て、Web制作会社に転職しディレクションを担当。2013年に退社し、約9か月かけて日本全国をバイクで旅する。これがきっかけで地域振興に関心を持つこととなり、同時期に全国公募で職員を募集していた安芸太田町観光協会と出会う。

同協会の「感動共有型交流産業で地域活性化を図る」という、有形無形の資源を最大限に活用する先進的なコンセプトに感銘を受けるとともに、美しい自然や人情味溢れる安芸太田町に魅力を感じて応募、現在に至る。

現在の大きな夢の一つは、訪れた人が第2の故郷と呼びたくなるような元気で温かい田舎一杯の日本にする事業に携わること。観光事業は未経験の分野ではあるものの、必要な知識の習得に努めると共に、前職の経験を活かした担当事業での成果と町の更なる発展に貢献し、安芸太田町が国内外の手本にされるような仕組み作りを模索したい。

◆6月に来町される学校の民泊引受けを是非よろしくお願ひします!!

民泊受入登録家庭が101軒となり、来年度来町校数も9校を数え、事業としては大変順調な「民泊」プロジェクトですが、本年6月の引き受け家庭がかなり不足しています。

事務局としても登録家庭1軒1軒にお願いしている最中ですが、是非とも当町民の【人情】に触れ、生きていく上でとても大切なことを学びにやってくる生徒達のためにも、人情深い町民の皆さまに対し【格段】のご協力をお願いします。もちろん、これまで民泊登録をされていないご家庭も大歓迎です。登録をお願いします。なお、該当校の来町日程は次の通りです。

①羽曳野市立高鷺南中学校 (民泊1泊 6月11日～6月12日)

・不足家庭19軒 4名引受けの場合の予定謝礼額 約30,000円

②東大阪市立弥刀中学校 (民泊2泊 6月22日～6月24日)

・不足家庭20軒 4名引受けの場合の予定謝礼額 約54,000円

※詳細は安芸太田町田舎体験推進協議会へ (観光協会 ☎28-1800)

◆著名なフランス人ジャーナリストが当町を訪れました。

当会事務局長の知人で大変著名なフランス人ジャーナリストが当町を訪れ、三段峡をはじめとする当町の素晴らしい景観や伝統工芸・人情田舎体験を3日間かけて取材されました。

特に「三段峡」と「人情田舎体験」は、欧米人に確実にヒットすると太鼓判を押していただきました。このことは来年3月に発行される世界的なガイドブックに5年間にわたって掲載されることになり、県内では世界遺産「宮島」に次ぐ快挙で、非常に稀なことと言えます。

これを機に世界に向けて大きく扉を開くことになった当町は大いに期待できます。

最後に町内観光地について、「素材は素晴らしいが殆どのホスピタリティー (接客対応) が世界や日本の標準的レベルには届いていない。」と非常に厳しい指導を受けました。「一般町民の方々はとても人情深いがサービスホスピタリティーは改善の余地が大いにある。」と、言われました。

近年間違いなく増加した【既存観光客とは異なるタイプ】の来町者を経済波及効果にほとんど変換出来ていない【主たる理由】がこのことであると私どもは、責任の一端を痛感し、一層の努力と工夫を重ねていきますし、当事者たる事業者の皆さまへも不断の努力と工夫をお願いするものです。

当会としては、今回の厳しい指摘を受け、希望される事業者に対して助言やサポートを一層強めるとともに、新たな風を吹き込むための【新規参入者】の誘致促進を加速していきます。

